

「10の姿」自然との関わり・生命尊重

先月お話した「10の姿」より今回は「自然との関わり・生命尊重」についてお話したいと思います。

教育・保育要領には「自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や研究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛着や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気づき、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えるようになる」とあります。

子どもは自然の美しさや不思議さに触れる経験を豊富に積み重ねると、幼児期後半頃には、自然の変化に自ら気づいたり自然の不思議さを研究したり、遊びに取り入れたりするようになります。

しかし、これは乳児期からの学びや経験の積み重ねによって、幼児期後半により深い学びや感性につながります。

例えば、言葉がわからない0歳児でも風を感じて気持ちいいと感じることがあります。その時に「そよそよ、風が吹いて気持ちいいね」と共感してあげることで風という存在や、気持ちいいということを実感していきます。

2歳児頃には身近な生き物に気づくようになります。3歳児頃になるとダンゴムシを集めるために花壇の中を探したり、石の下を探したりというように、自然と生き物のつながりを感じながら自分なりに遊びに取り入れていくようになります。

5歳児後半にはきれいな泥団子を作れるようになるといった自然と科学的な方法で遊んだり、実際に植物を育ててその成長の様子を観察したり、生き物を飼育して生命を学ぶようになります。

まさに今の時期は自然や生命があふれている季節です。当園でも、生き物の観察や植物の栽培を通して身近な植物に愛着を持つだけでなく、命のかけがえなさを感じ大事にしようとする姿が見られるようになっていきます。

ご家庭でも、子ども達の好奇心や興味に寄り添いながら、子どもの育ちを支援してあげてください。

例えば、虫が苦手なお母さんも、自分は触れなくてもお子様の話に共感してあげてください。

大好きな人が否定的なものは子どもも否定的になり、世界が少しずつ小さいものになってしまいますから。





認定こども園

やまざきゆめの森こども園

えんだより

2021

8月

東京オリンピック 2020 が開催され、日本のメダルラッシュに賑わいを感じる中、園でも子ども達とオリンピックの話で盛り上がっています。初めて観る競技、初めて聞く国の名前、肌の色や言葉の違いなど、子ども達の興味は尽きることがありません。子ども達の遊びや会話の中にもオリンピックを通して学んだことが沢山取り入れられています。この機会に是非おうちでもご両親の経験されたスポーツの話などを子ども達としてみてはいかがでしょうか。

月	火	水	木	金	土	日
2	3	4 🍰 こうけんくん・6	5	6 体育あそび	7	8 山の日
9 振替休日 🍰 ちさとちゃん・3 🍰 りまちゃん・2	10 希望保育	11	12	13	14	15
16 希望保育	17	18	19 保育参観	20 保育参観	21	22
23 保育参観	24	25 身体測定	26	27	28	29
30 体育あそび	31					

※体育あそび・・・体操服を着用して登園して下さい。

お知らせ・おねがい

- ・10日～16日の希望保育を希望されている方は、水筒、手ふきタオル、(あか・もも…エプロン、口拭きタオル)、午睡用シーツ、タオルケットを持って登園してください。
- ・希望保育中、バスは出ませんので送迎をお願い致します。
都合によりお休みされる場合は必ず朝9時までに連絡してください。
- ・希望保育中に、お着替えセットの中身、記名の確認をお願いします。
- ・保育参観…19日～9月3日の期間に保育参観を行います。日程は別紙をご確認の上、時間までにお集まりください。マスクの着用と水分補給のできるもの、汗拭き用タオル等をご持参ください。
※当日、体調に不安のある方は園まで連絡の上、参加をご遠慮ください。